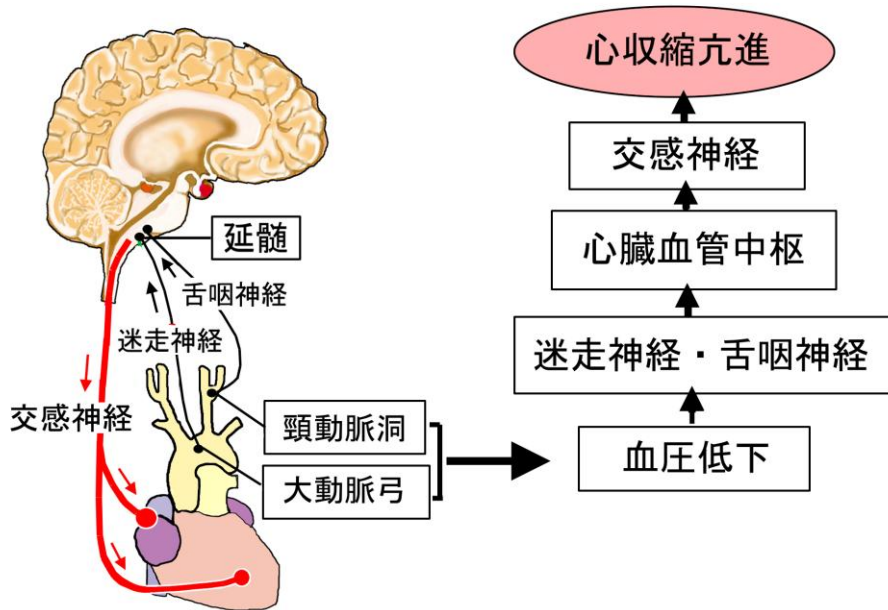
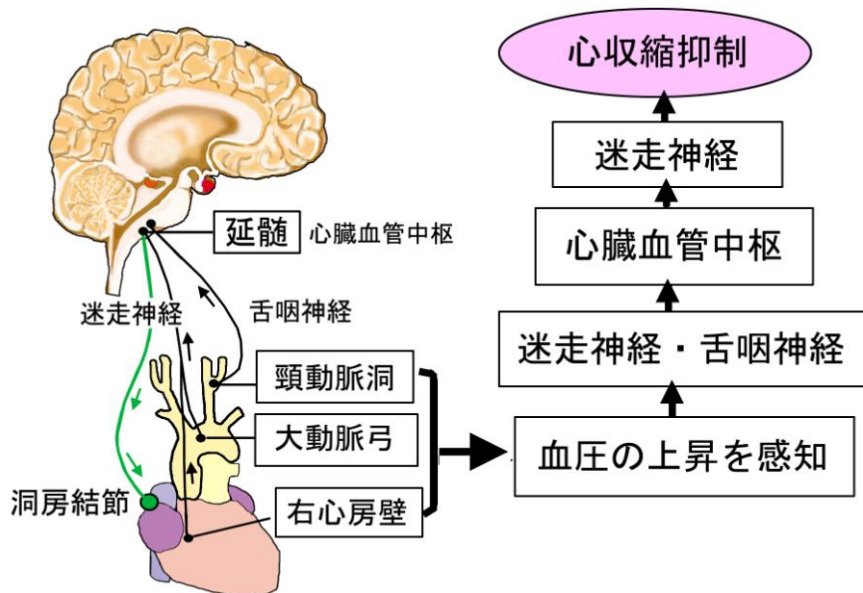


## 血圧の神経性調節



血圧低下(出血、脱水などが原因)の神経性調節は頸動脈洞と大動脈弓にある受容器により感知され、迷走神経、舌咽神経を介して延髄の心臓血管中枢を刺激し、胸髄から伸びる交感神経により心収縮力、心拍数を促進させる。



血圧上昇(体液量増加、循環血液量増加、細動脈硬化などが原因)の神経性調節は頸動脈洞と大動脈弓にある受容器により感知され、迷走神経、舌咽神経を介して延髄の心臓血管中枢を刺激し、延髄から伸びる迷走神経により心収縮力、心拍数を抑制させる。